

秋田県 由利本荘市（誕生祝い品の贈呈・木のおもちゃ箱の設置）

- 由利本荘市では、豊富な森林資源を活用するため、平成28年6月に「木育推進の市」を宣言し、平成29年2月に「ウッドスタート宣言」を行い、平成30年度から「誕生祝い品（木製玩具）」の贈呈を開始している。
- 令和5年度からは森林環境譲与税を活用して事業を継続。さらに、市内子育て施設への「木のおもちゃ箱」の設置を新たに開始した。

□ 事業内容

1. 誕生祝い品の贈呈

- ・ 市産材を活用した木のおもちゃを開発し、新生児に贈呈。
- ・ 令和5年度は3品の内から1品選択してもらい、保健師の2ヶ月訪問（こんにちは赤ちゃん訪問事業）の際に手渡しで贈呈。

【事業費】 1,320千円（全額譲与税）

【実績】 @4千円×330個



（おむすびころりん） （よちよちとりっこきじ） （ビービモック）

2. 木のおもちゃ箱の設置

- ・ 誕生祝い品などを入れた木のおもちゃ箱を、市内子育て施設に設置。

【事業費】 509千円（全額譲与税）

【実績】 7施設に設置。うち1施設にはミニどんぐりプールも設置。
おもちゃ箱の中には6種類のおもちゃを入れている。



（宝箱をイメージしたおもちゃ箱を製作） （ミニどんぐりプール）

□ 取組の背景

- ・ 総面積1,209km²の約75%を森林が占める本市において、豊富な森林資源を活用した事業が出来ないか平成26年度から検討を開始、木育事業に取り組むこととなり、木工職人の育成も目的とし、平成29年度に誕生祝い品の公募を行い、平成30年度に2品から選択してもらう方式で贈呈事業がスタートした。
- ・ 木のおもちゃに触れてもらう機会を増やすため、市内の子育て支援センター等に、年次計画で木のおもちゃ箱設置を開始した。

□ 工夫・留意した点

- ・ 令和2年度、令和4年度に新たな誕生祝い品の公募を行い、木工職人の育成に取り組んでいるほか、選択肢を広げている。
- ・ 市産材を活用し、市の特色を盛り込んだおもちゃの開発を意識している。（米どころ、市の木・鳥、鳥海山石をイメージ）

□ 取組の効果

- ・ 地元の木材を使った上質な製品に幼い頃から触れることで、地域や自然に親しむ心が育まれている。
- ・ 令和6年度も公募を行っており、新たな木工職人育成が図られる。



◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：162,908千円	②私有林人工林面積（※1）：28,072ha	
③林野率（※1）：75.4%	④人口（※2）：74,707人	⑤林業就業者数（※3）：284人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より、
※3：「秋田県林業統計」より